

伊賀市 事務事業評価シート

ソフト事業

事業名	コード	名称	会計	コード	名称
713		新山村振興(ハーモニーフォレスト)事業	01	01	一般会計
基本施策	54	地域資源を活かして、他地域と交流する	06	06	農林業費
			01	01	農業費
			03	03	農業振興費
担当部課名		青山支所産業建設課	細目	116	新山村振興(ハーモニーフォレスト)事業
作成者氏名	山内 敏	連絡先 52-3220	細々目	01	新山村振興(ハーモニーフォレスト)事業

事業の計画・内容

事業の目的	対象等(何を、誰を)	成果(どうなるのか)
	交流活動の地元側組織としての「種生区活性化計画推進委員会」	地元における交流活動の組織化、リーダーの養成の結果、地区全体の活性化に繋げる。
本年度事業内容	農村と都市住民との交流拠点整備を目的に建設中のハーモニー・フォレストの中心的施設として整備した学習棟他の野外活動用施設において交流活動の地元側組織としての「種生区活性化計画推進委員会」を対象に、先進地研修会、学習会等を開催やパンフレットの作成を行なう。	
開始年度	平成 年度	終了年度 平成 年度
		根拠法令・要綱等 山村振興法

投入資源

		H17	H18(予算)	H19(予算)
①投入人員	正規職員 (人)	0.5	0.1	
	人件費合計(A)	3,600	720	0
②支出内訳(千円)	事業費(B)	192,847	1,250	0
	委託料	7,968		
	工事費	179,378		
	備品	3,179		
	その他	2,322	1,250	
合計(A+B)		196,447	1,970	0
③財源内訳(千円)	特定財源			
	国県支出金	102,905	625	
	地方債	88,500		
	受益者負担 その他特財		548	
一般財源	5,042	797	0	
上記①～③に関する特記事項				

事業実績

活動指標	単位	実績値			目標値		
		H17	H18	H19	H17	H18	H19
研修会、学習会の参加者数	人	45	50	55			

評価指標

事業の目的の成果を測る指標	指標設定の考え方	単位	H17	H18(目標)	H19(目標)
研修会、学習会の参加者数	参加者数は地元の人々のこの事業に対する関心の深さ、期待度を示すもので、これらの人々の関わり方如何によっては、施設完成後における事業目的の達成に大きく関わる。	人	45 目標 ()	50	55
			目標 ()		

事業開始時からの状況変化及び事業の改善点等

本事業の推進に関して、当初から地元組織として「種生区活性化計画推進委員会」を位置づけており、地元側との意思統一を図って、施設の整備事業を進めてきたところであるが、市町村合併に伴い、事業目的の達成計画(集客数の見直し根拠)が不十分であり、確実な根拠を示さなければ見直しを余儀なくされ、再構築が必要になってくる。このため、事業が計画どおり進捗していないことから、地元の期待を裏切っている状況になっており、行政に対する不信感が生まれつつある。何としても地元の差し迫った危機感と計画の妥当性に対する市の幹部の理解を得、当初事業計画に対する予算の確保し、一刻も早く事業展開を本格化することが最重要課題。

評価	必要性	4	事業の推進には活性化の対象としている地元の人々の協力は必要不可欠なものであり、これが無ければ単なる施設の整備に終わってしまい、地域の活性化には繋がらない。何としても市の幹部を始めとして、本庁関係者の理解を得る必要がある。	総合評価 A
	有効性	4		
	達成度	3		
	効率性	3		